

第2クォータープログラム 2021年度実施特別募集要項（共通）

1 趣旨

必修科目がない国際教養学部、国際商学部、理学部の2年次第2クォーター期間（夏季休業期間含む）において、海外に渡航し、留学先大学が提供する科目授業や初習外国語の学習プログラム等を受講して、教養・専門・外国語の知識を身につけます。また、異なる文化環境のもとでの生活を通じ、豊かな国際感覚を身に着けます。

なお、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、すべてのプログラムがオンラインで実施されます。このため、本要項は2021年度のみの特集要項であり、通常の要項とは異なります。

2 応募要件

出発時に本学の国際教養学部、国際商学部、理学部の2年次に在籍している学生で、留学先の大学で教育を受けるのに十分な適性を持つもの。ただし、下記のものについては、**例外的に応募を認めます**。

- ①国際教養学部学生で、昨年度第2クォータープログラムに応募し、渡航予定であった学生
- ②医学部以外（国際総合科学部、国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部）の2年次以上の学生で、参加を希望するプログラム開講時期が授業期間と重複せず、プログラム参加が学修に影響を及ぼさない場合
- ③医学部以外の2年次以上の学生で、参加を希望するプログラム開講時期が授業期間と重複するが、プログラム開講時間帯が授業時間外（夜間）であり、プログラム参加が学修に影響を及ぼさない場合

※それ以外の詳細については、各留学先の応募要件を参照すること。なお、語学要件が設定されている場合は、募集締切までに取得し、応募時に提出すること。

3 併願について

特に制限は設けません。各プログラムの期間、開講時間などを十分考慮のうえ、併願したプログラムが受講可能かどうか各自で判断してください。

また、同時期に実施される海外インターンシップとの併願も可能ですが、インターンシップ開始後に参加が難しくなった場合、インターン先に多大な迷惑がかかるため、併願しても支障なく行えるか、特に慎重に考えてください。

4 補助金等について

下記の条件を満たす場合、予算の範囲内で横浜市立大学及び後援会より経済的支援の可能性が
あります。（ただし、後援会からの経済的支援は保護者が後援会に加入している場合のみ、また
下記の金額は補助金と後援会助成金の合算になります。）

対象者	支給内容（補助金後援会助成金合算）
独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金もしくは給付型の奨学金を取得している学生（※）	プログラム費の5分の1を補助（千円未満切り上げ）。ただし最大支給額は4万円とする。また、プログラム費の5分の1が1万円を下回る場合は支給しない。
1年次の学業成績が特に良好と認められ（本プログラム申込者のうち上位10%程度）、独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金を取得している学生（※）	プログラム費の10分の1を補助する（千円未満切り上げ）。ただし、最大支給額は2万円とする。また、プログラム費の10分の1が1万円を下回る場合は支給しない。

5 単位認定について（予定）

プログラムを受講し、所定の成績等をおさめ、提出物等を期限内に提出し、所定の手続きを行った場合、下記の単位について成績評価等がされる場合があります。

なお、短期海外研修については後期の履修登録期間に履修登録が必要となります。また、他大学単位認定については他大学単位認定申請期間において申請が必要となります。

また、本プログラムを国際総合科学部の学生が受講した場合は成績評価・単位認定は行いません。

(1) 語学研修プログラム

共通教養 短期海外研修（1単位）

(2) 専門を英語で学ぶプログラム

ア 授業時間数が45時間未満の場合

共通教養科目 短期海外研修（1単位）

イ 授業時間数が45時間以上の場合

他大学単位認定。ただし、本学に内容が一致する開講科目がない場合は、海外留学科目群として、卒業要件を満たす単位として認定される場合があります

(3) オンライン・カスタマイズプログラム（ウェスタンオンタリオ大学）

他大学単位認定で申請し、以下の科目が認められる場合があります。

ア 国際教養学部： 共通教養科目 特別講座（留学科目・共通教養） 2単位

イ 国際商学部： 専門科目 特講（国際商学部留学科目） 2単位

ウ 理学部： 共通教養科目 特別講座（留学科目・共通教養） 2単位

エ データサイエンス学部： 共通教養科目 特別講座（留学科目・共通教養） 2単位

6 本プログラムに参加する学生の前期の履修について

本プログラムに参加する学生は前期通期科目（半期を通して授業がある科目）及び第2クォーター期間に開講される科目は原則履修できません。もし履修したとしても特段の配慮を行いません。ただし、短期集中科目などで科目の開講期間にプログラム実施期間が重複しないなどの場合は、当該科目を履修することができるものとします。また、追試期間と重複するプログラムに参加した場合は、追試を受けることができません。

なお、夜間など、授業時間外に行われるプログラムについては、履修科目の学習上、影響がない範囲で参加を認めます。ただし、本プログラムの受講が、履修科目の学習上の妨げとならないよう、十分注意してください。

7 申し込み方法について

申込みは(1)本学HPにて公開のForms、(2)プログラムの実施大学が指定する申し込み、の両方を必ず行ってください。両方のどちらか一方でも行わなかった場合、参加が認められないことがあります。また、(1)を行わなかった場合は、単位認定及び補助金の支給はありません。

8 選考

実施の予定はありませんが、応募状況により、提出書類、成績等をもとにして選考が行われる可能性があります。

9 終了後の活動

終了後は、報告書の提出及び報告会の企画、次期派遣学生向けの説明会、オリエンテーション等へ参加するとともに大学プログラム経験者として広報活動に協力すること。

10 その他注意事項

締め切りは各プログラムにより異なります。別途各プログラムの募集（カスタマイズプログラムを除く）を確認し、遅れないようにしてください（プログラムによっては早期応募期限もあります）。また、申込者には補助金・単位認定の具体的な手続きなどについて随時YCUメールに連絡をします。確認を忘れないようにしてください。